

鹿児島県の紹介

九州南部に位置する鹿児島県。総面積は、9、189km²、南北約600kmとたてに長い県土の為、気候も温帯から亜熱帯までと様々で、宇宙センターのある種子島や、世界自然遺産に登録された屋久島をはじめとした多くの島々を有しています。

また、古くから日本の南の玄関口として、アジア太平洋地域との交流がありました。現代においても変わらず、2007年には国内外の観光船の寄港地として、国際観光船ふ頭「マリンスポーツかごしま」が整備され、サファイア・プリンセスや飛鳥IIといった、大型の観光船の寄航により国内外を問わず、毎年多くの観光客が鹿児島を訪れています。

鹿児島島の魅力の一つに、温泉があげられます。火山が多い鹿児島では、良質な源泉があちこちにあり、特に広く知られている、霧島地区・指宿地区は様々な温泉地ランキングで常に上位にランクインしているのはご存知の方も多いのではないでしょ

うか。さらに鹿児島市内だけでも約270の源泉が存在するため、実は、鹿児島県内にある銭湯のほとんどが天然温泉であり、400円前後の料金で気軽に利用することが出来ます。

また、現在ではカップアイスなどで全国で販売されている、「しろくま」は鹿児島発祥のかき氷です。ふわふわのかき氷に、たっぷりの練乳がかかり、色とりどりのフルーツがのっている様子が白くまの顔に見えることからその名がついたという説もあり、天文館にある有名なお店では、季節を問わず観光客の姿が見られます。

秋から冬にかけては南九州最大の祭り「おはら祭り」、大隅の「やごろうどん祭り」、毎年全国各地で一番早く行われる「指宿菜の花マラソン」など、イベントも多数あります。皆様もぜひ、温泉・自然・美味いものを探しに、鹿児島へ遊びにいらしてみませんか。



しろくま



霧島温泉



おはら祭

「写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟」



ミラココア "amicoco"
熊本・宮崎・鹿児島の3販社の企画による地域特別仕様車

軽自動車王国 鹿児島県

鹿児島県は県内の登録車・軽自動車全体に対する、軽自動車保有の割合が50%をこえており、《(社)全国軽自動車協会連合会調べ》2014年3月末現在、100世帯あたりの軽自動車の普及台数では、全国18位(84・3台)、また、保有台数においては18位(673、929台)とまさに、軽自動車王国といつてよいといえます。《国土交通省調べ》2013年12月末現在

都市部と違い、山間部など公共交通機関が十分でない地域では、家族一人ひとりが車を所有していることも少なくないため、維持費の安い軽自動車が日常の足として欠かせないものとなっています。



- 発案** ……アイデアは日々の仕事から生まれる。
- 発揮** ……常に120%のチカラを出す。
- 発展** ……人の成長こそが会社発展の原動力。
- 発動** ……緻密に考え、大胆に動く。

これらをキーワードに社員一人ひとりの可能性を広げる職場づくりに取り組んでおります。



会社の歴史

当社は1917年に鹿児島市で創業、1947年に会社設立、1963年に、現在の鹿児島ダイハツ販売株式会社へ組織変更し、現在に至っております。

2018年には創業100周年を控え、県内屈指の老舗ディーラーとして、また、地域密着型の企業として、鹿児島県北部から、南は奄美大島まで、14の拠点で営業しております。

2012年には吉野店、2013年には谷山店を新装オープンし、明るく広々とした店内、女性のお客様にも喜んでいただけるよう、おしゃべりに生まれ変わったショールームには、カフェカウンターを設けて、これまで以上におもてなしの心で、スタッフ一同、お客様をお迎えしております。



ワンダフルメンバー
29
事務所紹介コーナー

No.26

鹿児島ダイハツ
販売株式会社

鹿児島市東郡元町7番22号
http://dd.daihatsu.co.jp/kagoshimaD/

